

# 平成31年度文教・科学技術予算のポイント(概要)

※内容や計数は精査中であり、今後、変更が生じる場合がある。

	30年度	31年度	(差額、伸び率)
文教及び科学振興費	53,512億円	53,824億円	(+311、+0.6%)
うち、文教関係費	40,337億円	40,445億円	(+108、+0.3%)
うち、科学技術振興費	13,175億円	13,378億円	(+204、+1.5%)
(参考)文部科学省予算	52,938億円	53,203億円	(+265、+0.5%)

※ この他、「臨時・特別の措置」として文教及び科学振興費で2,201億円、うち文科省予算で2,084億円を計上

## ◎ 予算の「使い方」の見直し

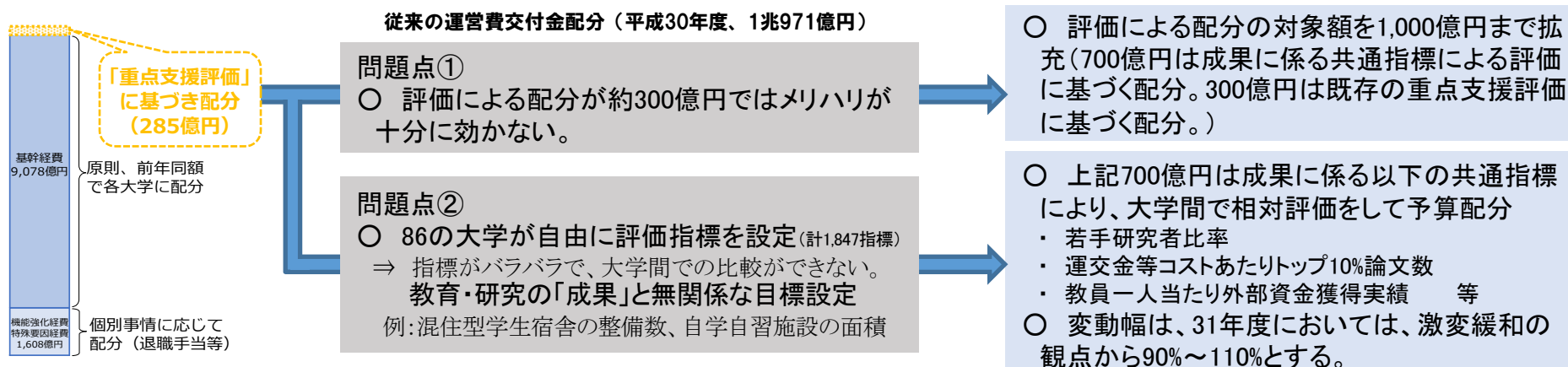
限られた予算を最大限活用して教育・研究の質を高めるため、「単純な配分」から「質の向上に実効性のある配分」へ、予算の「使い方」を見直す。

### 高等教育の質の改善と研究力の強化に向けた改革

#### ○ 国立大学法人運営費交付金[1兆971億円]の配分方法の見直し

…各国立大学への運営費交付金について、その大部分を前年同額で固定して配分してきた仕組みから、1,000億円分を評価(うち700億円は質の高い論文など成果に係る共通指標で評価)に基づき配分する仕組みに見直し。

#### 平成31年度の運営費交付金配分



#### ○ 科研費の若手研究者への重点化[2,372億円](+86億円)

…若手研究者が自立的に研究に挑戦できるよう、大型研究種目から若手研究者向け研究種目(「若手研究」「研究活動スタート支援」等)へのシフトや一部種目における若手研究者の積極的採択を行うなど、若手研究者への重点化を進めつつ、充実する。

※ 32年度以降、対象額(配分割合)と変動幅を拡大

# 平成31年度文教・科学技術予算のポイント(概要)

## 質の高い初等中等教育の提供に向けた改革

### ○ 英語力を有する小学校教諭の新規採用の促進

…より質の高い英語教育に向け、各都道府県等の小学校教諭の新規採用者のうち、一定以上の英語力を有する者の割合が50%以上(中学校教諭に求められる水準として教育振興基本計画に定められた割合と同水準)を指標として、英語専科指導のための教員加配を行う仕組みを導入。

### ○ 学校現場における働き方改革の促進

…教師が授業等に注力できるよう、働き方改革の一環として、部活動指導員の配置にあたり、適切な練習時間や休養日の設定など、部活動の適正化を進めている自治体を対象とするよう見直し。

## ◎ その他の主要事項

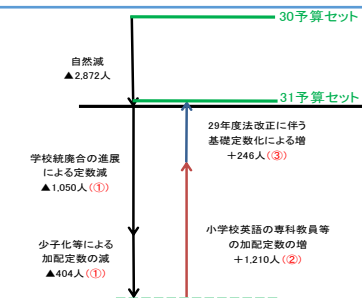
### 教職員定数(義務教育費国庫負担金)

○ 31年度の義務教育国庫負担金[1兆5,200億円](▲27億円)は、自然減(前年度比▲2,872人)を起点として、

- ① 学校統廃合の進展による定数減、少子化等による加配定数の減(▲1,454人)
- ② 小学校英語の専科教員等の加配定数の増(+1,210人)
- ③ 29年度法改正に伴う基礎定数化(発達障害、外国人児童生徒対応)による定数増(+246人)

⇒ 教職員定数は68.5万人から68.2万人(▲0.3万人程度)

### 教職員定数の増減イメージ



### Society5.0の実現に向けた重点分野への戦略的配分

- ポスト「京」の製造段階への移行[99億円](+43億円)
- 官・民・地域の共同負担による最先端大型研究施設(次世代放射光施設)整備の推進[13億円](+11億円)
- 革新的な材料を社会実装につなげる「プロセスサイエンス」の構築(新規)[3億円]

### 国家戦略上重要な技術の研究開発の推進

- 多様な打ち上げニーズに対応した国際競争力のあるH3ロケットの開発[227億円](+15億円)
- 防災・減災対策等に資する広域・高分解能の次世代衛星の開発[67億円](+8億円)